

特別活動・道徳の理論	2年・後期	2単位	講師 堤 ひろゆき
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	36311292

1. 授業のねらい・概要

学校は教科のみを教える場ではなく、道徳に加えて特別活動といった教科外のカリキュラムが組み込まれている。本講義では、教育活動によって学校という場がどのような可能性をもちうるのかという観点から、学校教育における特別活動・道徳の意義と目的について解説する。現代の社会状況やそのなかで学校教育が果たすべき役割、特別活動・道徳の教育課程上の位置づけや歴史の変遷などを把握したうえで、具体的な特別活動・道徳教育の方法論や今後の課題について考察できるようになることが本講義の目的である。

2. 学修の到達目標

1. 特別活動および道徳教育の基礎概念と理論を理解する。
2. 特別活動および道徳教育の歴史の変遷と方法論について理解する。
3. 特別活動および道徳教育の今後の課題について、理論と実践をふまえた考察を行うことができる。

3. 授業の進め方

レジュメおよび参考資料を配布し、基本的には講義形式で進めていく。また具体的な教育実践を扱った映像資料や文献などを紹介し、その内容について理解を深めたい。

4. 授業計画（講義）

1. 特別活動とは何か	9. 現代の道徳教育
2. 特別活動の目標	10. 道徳教育の歴史①：戦前編
3. 特別活動の歴史①：戦前編	11. 道徳教育の歴史②：戦後編
4. 特別活動の歴史②：戦後編	12. 道徳教育の目標と内容
5. 特別活動と他教科との関連性	13. 道徳の授業計画
6. 実践例の検討①：「混合教育」の実践	14. 授業実践例の検討
7. 実践例の検討②：「グループエンカウンター」	15. 講義のまとめ
8. 学級づくりの方法	

5. 成績評価の方法・基準

受講態度や講義への参加等の平常点（30%）および期末課題（70%）をもとに総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：自作の資料を配付する。

参考文献：山口満、安井一郎編（2010）『特別活動と人間形成』学文社。

木村元ほか（2009）『教育学をつかむ』有斐閣。

村井実（1990）『道徳は教えられるか』国土社。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

配布資料および参考文献の読解（30分程度）。期末課題や発表資料作成にむけての準備（1時間程度）。

8. 受講上の留意事項

明確な目的意識をもち、教職に就くことを強く希望する学生の受講を望む。

9. 課題に対するフィードバックの方法

各回の冒頭にレポートへの講評を行い、グループワーク等の直後にもコメントを行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

養護教諭第一種免許状取得のための必修科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。